

〇バードウォッチング入門

1. 日時：2025. 2. 8（土） 9：50～12：00 天気 晴れ
2. リーダー：U, T ききみみメンバー：4名
3. 参加者数：大人 3名 子供 1名 対象者：小学生以上
4. ねらい：バードウォッチングを通して自然の楽しさや大切さを感じてもらう。
5. 活動場所：多目的ルーム～ベランダ～芝生広場～水飲み広場～駐車場～貯水池沿い～センター
6. 活動内容：バードウォッチングのマナー、双眼鏡の使い方や図鑑の使い方を勉強し、野外に出て実際に野鳥を観察してもらう。

時間・場所	内 容
9：50 多目的ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介（ききみみメンバー） ・内容を伝える（マナー、双眼鏡・図鑑の使い方など） ・ものさしどりを覚えておくくと便利！・・・全員がリピーターの方だったので、双眼鏡の使い方、図鑑の使い方、ものさしどりの説明を省いた。 ・「メジロ」の生態について資料を活用しながら説明する。 *食べ物に適応した嘴や舌の構造：細長い嘴、舌の先がブラシ状で管状のストローのようになっているので蜜を吸いやすい。花卉に残る足跡。 *「目白押し」の語源：寒い時にメジロが押し合うように枝に並んで休んでいる。 *地鳴き：「チー」（スマホで確認） *混群、食べ物、目の周りの細かい白毛 *漢字ドリル：クモの糸やコケなどで巣を作るメジロ（落ちていた巣で確認）
ベランダ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベランダが凍っていたので、ヤマガラを確認して芝生広場に向かった。
芝生広場	<ul style="list-style-type: none"> ・水飲み広場へ行く途中、サザンカの花びらにメジロが蜜を吸うために止まった足跡を確認した。
水飲み広場	<ul style="list-style-type: none"> ・水飲み広場ではルリビタキのオスが2羽、肉眼ではっきり確認できた。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場ではエナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、シロハラ、アオジを近くで確認できた。
貯水池東屋 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・桜山貯水池ではカンムリカイツブリ、繁殖羽のカワウが確認できた。 ・鳥合わせをする。 <p>【水辺の鳥】カンムリカイツブリ、カワウ、コサギ</p> <p>【山野の鳥】トビ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、シロハラ、ルリビタキ、 ジョウビタキ、アオジ</p> <p style="text-align: right;">17種確認</p>
12：00	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート依頼 解散